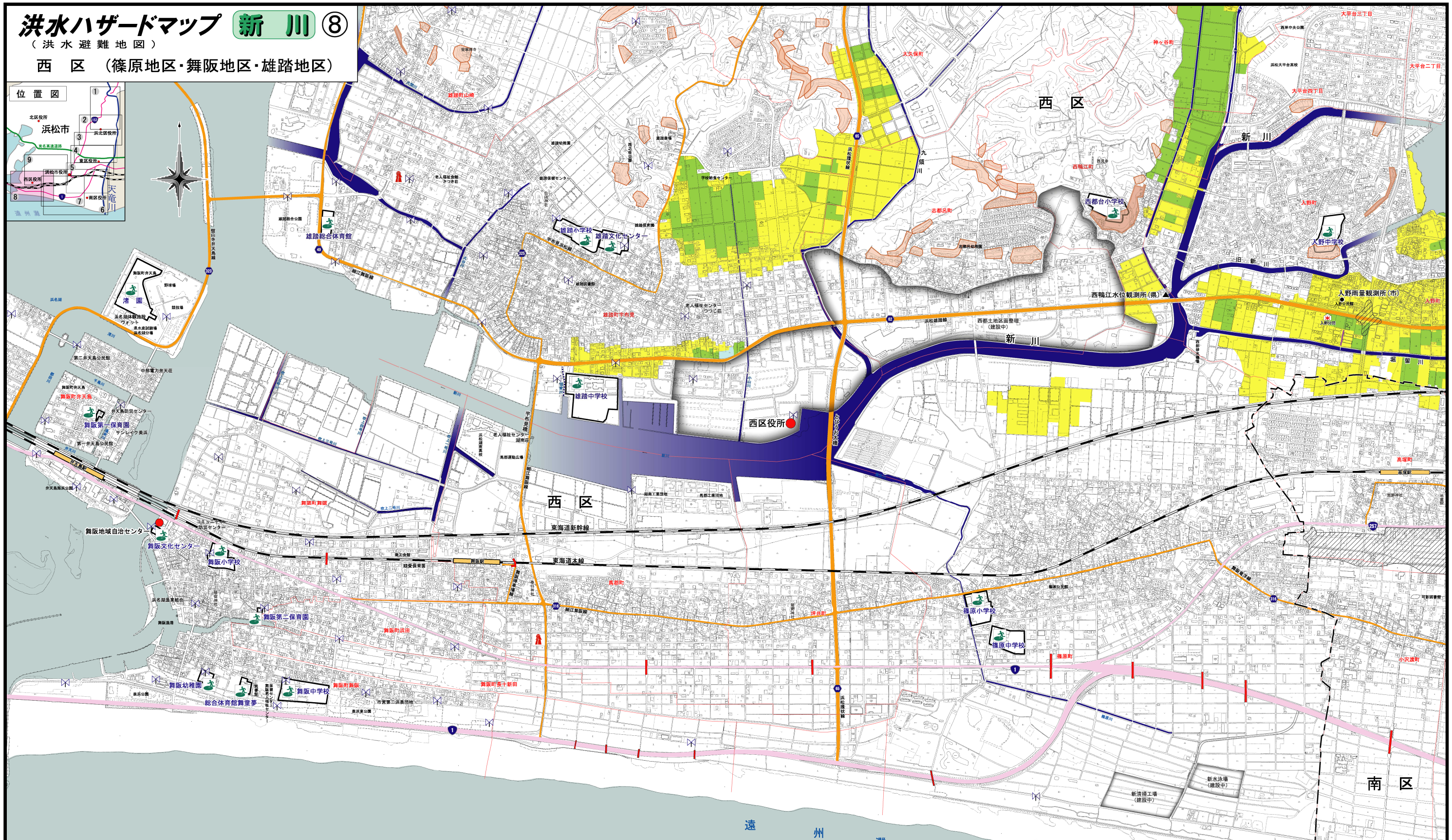
洪水ハザードマップ　新　川　⑧

（洪水避難地図）

西　区　（篠原地区・舞阪地区・雄踏地区）



凡　例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 0～0.5m未満の区域
- 0.5～1.0m未満の区域
- 1.0～2.0m未満の区域
- 2.0～5.0m未満の区域

- 町界線
- 区界線
- 国道
- 県道
- 新幹線・東海道本線
- 私鉄
- 近年の主な浸水箇所
- 近年の主な道路冠水箇所
- 冠水する危険のある地下道
- 防災行政無線（同報無線）
- 避難所
- 救護病院
- 警察署
- 消防署
- 水防団倉庫
- 雨量観測所
- 水位観測所
- 土石流危険区域
- 急傾斜地崩壊危険箇所
- 急傾斜地崩壊危険区域（指定地）

○この地図は新川の流域に大雨が降り、河川がはん濫した場合に想定される浸水状況を計算し、浸水の範囲と深さを示しています。
○実際には、この地図に示す範囲が同時に浸水することはありません。
○お住まいの地域の浸水状況は、堤防の決壊箇所や洪水があふれる場所ごとに異なります。
　最も深くなるときを１枚の地図に表しています。
○浸水の深さが0.5m以上になる区域のみなさまは、お近くの「避難所」を地図でご確認ください。
○雨の降り方や土地の形態などにより、地図に示した深さより深くなる場合があります。
　この浸水範囲以外でも低地地区での内水による浸水被害や、小河川・排水路のはん濫被害が発生していますのでご注意ください。　（全域図は冊子の１０Pを参照下さい）

※静岡県が計算した資料を基に作成しています。
　次のような大雨（河川計画の基本としている雨の強さ）を想定して計算しています。
　安間川　63.1mm／時間、　馬込川　72.5mm／時間、　新川　65.8mm／時間
※土石流および急傾斜地崩壊の危険箇所は平成１２年の調査を基にしています。
　その後の地形変更による区域の変更が表示されていない所があります。

S = 1 : 10,000　　0　100　200　300　400　500　1000m　　このマップの縮尺は１ｃｍが１００ｍです。

この地図は、平成18年度浜松市作成の10,000分の1地形図を使用し、調製したものである。

平成19年3月作成　浜松市